

ミニ文化祭大特集

12月5日の5・6時間目に、ミニ文化祭が行われた。吹奏楽局、ダンス部、太鼓局のステージ発表や、料理部のマドレーヌ販売、各部作品の展示など文化部を中心とした発表が行われた。また、放課後からは、軽音楽同好会の特別ライブが行われ、集まったおよそ100人がパフォーマンスを楽しんだ。

本紙では、そんなミニ文化祭を振り返ろうと思う。

新聞局員が語る
今回の感想

茨戸川

発行
石狩翔陽高校
新聞局
2025年12月19日
第8号

吹奏楽局

最初のステージ発表であった吹奏楽局は、サンタ帽を被ったり、クリスマスツリーになったりとクリスマス仕様での演奏であった。顧問の海野雅先生が指揮をしながら、観客席に対して「ヘーイヘーイヘーイ」などと熱く呼びかける場面があるなど、堅苦しい感じではなく、吹奏楽などにあまり親しみがないような人でも楽しめ



ダンス部

るようにといった工夫がなされていた。



石狩太鼓局

石狩太鼓局の演奏は、ジャンプをしながら太鼓を次々に叩いていたり、激しく叩くところは激しく叩いたり、カメラが正確に捉えきれないほど速いバチさばきなど観客を圧倒するような発表だった。

今年も全国大会出場を果たしたダンス部は、部員が振り付けを考えた特別ダンスを披露していた。動きにキレがあり、迫力満点だった。発表が進むにつれて、会場は盛り上がりを見せ、韓国で人気のアイドルグループ「TWICE」のダンスを踊った際に特に盛り上がった。来年度も全国大会出場を目指して頑張つてほしいと思う。

生徒会企画

また、日没が近づき、局員を照らす形で太陽が差し込み、演奏を引き立てていた。



ステージ発表が行われていた間、1階の生徒玄関ホールでは、生徒会による様々な企画が行われてい

料理部

た。似顔絵コンテストは、生徒会特別賞を1年3組が受賞。各年次主任賞は、1年次が1組。2年次が、8組。3年次は4組。また、2年次主任特別賞を、2年4組が受賞した。なお、年次主任の先生方の似顔絵のうち、1年時年次主任の海野雅先生と3年時の年次主任の川添龍一先生の似顔絵は、生成AIが作成したものであった。

また、最近話題の「恋みくじ」や、10円で最高額100円のお菓子が当たるお菓子の「くじ引き」なども長蛇の列となり大人気だった。

7月に行われた翔陽祭に続いて、料理部ではマドレーヌを販売していた。多くのマドレーヌを用意していたが、ミニ文化祭開会宣言と同時に長蛇の列となりすぐに売り切れた。今回販売されたのは2種類で、更にチーズケーキも販売していた。局員が食べたところ、「ココア」が一番好きだったとのことだ。来



年もマドレーヌが販売された際には、ぜひとも多くの人に食べていただきたい。

生物・科学部



生物部と科学部の合同発表では、生物部が葉の葉脈を標本にする体験を実施していた。シャーレに入った葉をピンセットなどで摘み、必要箇所だけを引き取り、標本にする作業はたいへん細かく、器用さが求められていた。また、科学部では、液体窒素にレタスを漬ける実験をしていた。また、化学反応を活用した象の歯磨き粉の実演など、普段あまり触れることができない「理科」の一面を垣間見ることが出来た。

図書局

図書局では、本の読み聞かせと局員のおすすめする本をポップを使って紹介するコーナーを図書室



に作っていた。おすすめの本の紹介では、小説から自己啓発本、絵本まで様々な本が紹介されていた。読み聞かせでは、絵本の読み聞かせをしており、高校生になって聞いてみると、幼少期とは違った受け取り方や見方ができて、面白いと感じた。

ボランテニア局

1階の家庭経営室にて、折り紙制作をして綺麗にできたらお菓子をもらえるという企画を実施していた。会話をしながら楽しく折り紙を折ることができて、作業感がなくて楽しかったそうだ。また、古本販売やコンタクトレンズの回収などのボランテニア活動も同時に実施していた。

美術工芸部

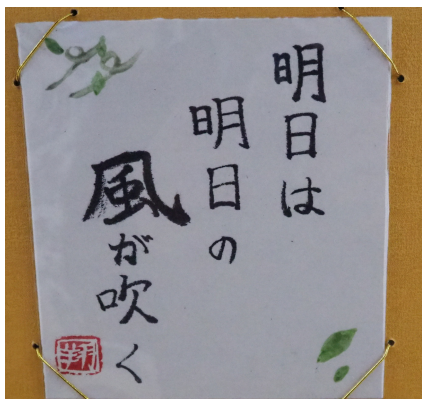
美術工芸部は、部員が制作した作品の展示を行っていた。油絵で

描かれた小鳥など、忠実に再現され、絵の完成度が大変高かった。



書道展示

書道部は筆遣いから、作品にかけた思いがひしひしと伝わってきた。今後の創作が期待される。また、授業展示では3年次の「生活の書」などの展示がされており温かみのある筆遣いが印象的だった。



イラスト部

イラスト部では、部誌の配布と部員の作品が展示されていた。

部誌は早々に用意した分がなくなっ てしまったそうで、人気だったこ とがうかがえる。作品展示は、漫 画やアニメのキャラクターなどの イラストが十数点展示されていた。 それぞれの作品一つ一つをじっくり見ると、伝わってくる思いがあ り、来年以降の作品にも期待して いる。



演劇部



オリジナル劇「願いがかなうなら」を2回上映した。席が足りなくなるほどの観客が来場し大盛況だった。フリーマーケットでの「古い壺」を中心に繰り広げられる芝居で、観客を魅了した部員3

人の演技に大きな拍手が送られていた。また、表舞台の役者だけでなく、音響、照明、脚本などそれぞれの仕事があつて、「二発勝負」の演劇が完成されることに感動した。

軽音楽同好会

放課後に始まった第二幕では、軽音楽同好会の特別ライブが行われた。会場には、生徒や教職員ら常時100人以上がパフォーマンスを見に来ていた。各バンド、それぞれの特色があり、エンターテインメント性も高く、観客を楽しませていた。



お問い合わせフォーム

